



福知山公立大学
まちかどキャンパス吹風舎

発行人：谷口 知弘
編集：学生スタッフ
(川下 紗嬬・小林 航也)
発行日：2022.02.28

「ふくちゼミ 2021」完結！

「ふくちゼミ」とは、福知山市在住または在学中の高校生・大学生が、福知山市への愛着を持つことを目的とした活動です。福知山市が主催し、福知山公立大学の学生が協力する場も設けていただいています。本活動では、高校生・大学生を主体として企画・実行する5つのプロジェクトが展開されました。

どんなプロジェクトが行われたの？

● 移住者発掘プロジェクト

「移住者の暮らしてどんな暮らし？」そんな疑問に迫るプロジェクトです。福知山市へ移住された方々を対象に、オンラインでの対話や「移住者交流会」の開催を学生ら自身が企画し、実行しました。

プロジェクトを通して、実際に移住を経験したからこそわかる移住への思いを知ることができました。また、福知山市全体の移住者同士が交流する機会ともなりました。

● わかもの食プロジェクト

大学生が朝食をとらないことや、食に対する関心が低いことを問題として取り上げ、その解決のために高校生と大学生が協働したプロジェクトです。大学生でも簡単に作れる料理のレシピを開発し、それらを SNS やチラシで発信しました。また高校生による大学生のための料理教室も実施しました。

● オンライン de 福知山音頭プロジェクト

踊る機会が減ってしまった、福知山市に伝わる盆踊り「福知山音頭」。文化の継承も兼ねて、新型コロナ禍の中でもオンラインで福知山音頭を盛り上げようという趣旨のプロジェクトです。当日は、世代を問わず多くの参加者が見られ、活気あふれる福知山音頭が実現しました。

オンラインで最終報告会

2021年12月26日、「ふくちゼミ 2021」最終報告会が行われました。当初は福知山公立大学で行う予定でしたが、大雪警報の発令により、急遽オンラインでの開催となりました。午後から始まったオンラインの報告会では、各プロジェクトがそれぞれの1年間の取り組みやそれを通じて学んだことを発表しました。

報告書の発行決定

報告会を終え、学生スタッフが福知山市と協働して報告書を作成し、発行が決定しました。報告書には、各プロジェクトへのインタビュー記事を掲載しています。デザインを含め、見やすくまとめたつもりですので、機会がありましたら是非ご覧ください。

● 広報ふくちやま作成プロジェクト

その名の通り、福知山市が毎月発行する広報誌「広報ふくちやま」の特集ページを作成するプロジェクトです。テーマ設定から取材、編集にいたるまで学生ら自身が手掛けました。本プロジェクトで作成した記事は、広報ふくちやま1月号に掲載されています。

「広報ふくちやま1月号」
コチラからアクセス



● カラフル～高校生が創る傘で彩られた空～

色とりどりの傘を吊るし、学生ら自身の思い通りの色で世界に1つだけの空をつくり出すプロジェクトです。天候の関係で本番は延期となり、プロジェクトの規模こそ縮小することとなってしまったものの、無事に実施することができ、来場者からのあたたかい声も聞けました。



カラフル～高校生が創る傘で彩られた空～
当日の様子(2021.12.21)

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、どのプロジェクトもさまざまな問題と対峙しながら無事に成し遂げることができました。この福知山という場所で、高校生と大学生、ひいては地域の皆さまと年齢を越えてつながり、ともに学び、高め合う機会に巡り合えたことは、「ふくちゼミ 2021」に参加したすべての学生にとって貴重な経験となり、それぞれが何らかの成長を実感できたのではないかと思います。

ご協力いただきました地域の皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。プロジェクトを通して学んだことは学生にとって、きっと今後の強みとなるはずで、1年間本当にありがとうございました。

福知山市に見ゆる季節

今年度の福知山にはたくさんの雪が舞い降りた。
大きな雪も、そして小さな雪も――。
降った雪の分だけ、みなさまに幸せが訪れることを切に願う。
大きな幸せも、そして小さな幸せも――。



音無瀬橋より(2022.02.05)

福知山の こんなバシヨ！ そんなバシヨ！ あんなバシヨ！ どんなバシヨ？

この特集では、本紙を作成している学生スタッフが福知山市内のお店にお邪魔させていただき、お店の方にインタビューを行います。知っているようで知らない福知山の魅力を学生の視点から探り、それを発信する場でありたいと考えています。もちろん、この企画だけで福知山のすべてを伝えることは難しいです。福知山についてもっと知りたい、と思ってもらうことが本企画の目的です。

Part.1 カフェ&ギャラリー「まいまい堂」(取材日：2021.11.19)

福知山市の新町商店街を歩いていると、いつの間にかおとぎの国にでも迷い込んでしまったかのような気持ちにさせられる一角があります。カフェ&ギャラリー「まいまい堂」をご存じでしょうか？真っ白な壁には、うっすらと木の筋が見え、多種多様な植物たちが、そこを訪れた人々を歓迎するのです。扉を開くと甘い香りで包み込まれ、もう中に入らずにはいられません。

第1回目は、そんな「まいまい堂」のオーナーである横川知子さんに取材させていただきました。



2021年12月24日をもって、
創業13年！

(撮影日：2021.11.19)



オーナー／横川 知子さん

カフェ&ギャラリー まいまい堂

福知山市下新2 6番
TEL 0773-22-4686
営業時間／12:00～19:00
定休日／月曜日・日曜日

人のいないところに、人が回っていくように……。

——カフェを経営しようと思ったきっかけは何ですか？

昔は動物が好きで獣医さんを目指していましたが、高校生になってからは「自分のお店を開きたい」と思うようになり、カフェを開こうと決めました。

最初はなかなか理想の場所が見つかりませんでした。そしてたどり着いた場所がこの新町商店街でした。シャッターの開いたお店が増えれば、町が活気づくのではないかと考え、ここに決めました。

——見知らぬこの場所でカフェを開業することに関して、お客さんが来ないのでは、という不安はなかったのでしょうか？

人のいないところに、人を呼び込みたいのです。人が来るところならば誰にでもお店は開けます。

また生活面でも、ここにお店を開いたことで親の介護とお店の経営を両立できたので、結局はこの場所が良かったと思える今があります。

——「まいまい堂」というお店の名前に込められた意味とは何でしょうか？

2つの意味があります。1つは、軽やかに舞う様子をイメージさせる「舞い舞い(=まいまい)」という言葉です。この言葉には、人や物事、情報など、さまざまなものが軽やかに回っていくようにという願いを込めました。そして、もう1つが「てんてこ舞い舞い(=まいまい)」ということで、お店がてんてこ舞いになっても続けられるようにという思いを込めました。

お客さんには、ゆっくりしてもらいながらも、いろいろなものに出会って、いろいろなきっかけをつくってもらいたいです。

——カフェを経営するうえで、横川さんの一番の喜びとは何ですか？

良いと思えることを試せることは喜びの1つです。世の中のあらゆる理想像の中で、自分には一体何ができるのかを考えられます。

例えば、私は「モノを大切にしたい」「次々に捨てられるモノを何とかしたい」と思い、お店では古道具を扱うようにしています。

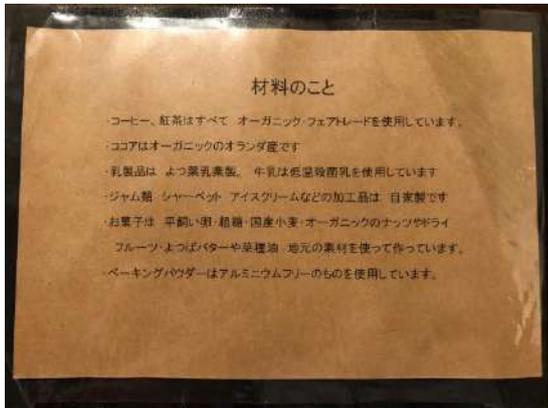
また、いい人ばかりがお店に来てくれることも喜びです。それが、カフェを経営していて「楽しい」と思える理由です。カフェに来てくれる人の「多さ」ではありません。

ご縁、そして人とのつながりを大事にすること。

——メニューに横川さんのこだわりはありますか？

福知山で採れたものや国産のもの、オーガニックのものを中心に使用してお菓子作りを行っています。また、ご縁があって手に入ったものを使うようにしています。

お店にあるお庭では、ゆず・プルーン・キンカン・ブルーベリーを栽培していて、最初は困難もあったけど、知り合いの方やカフェに来てくれる作家さんにも手伝ってもらいながらなんとか栽培できました。



「メニューに使用される材料について」店内掲示より
(撮影日：2021.11.19)

——メニューはブログでも公開されているようです。

ブログ自体は、まいまい堂の開店以前から投稿しています。2020年からは「Instagram」への投稿も始めました。成果が出るかどうかはわからないけど、時代についていけるようにがんばっています。

まいまい堂の
「Instagram」アカウントは
こちらから



ぜひフォローしてください！

——「まいまい堂」さんはカフェのみならず、ギャラリーとしての一面もありますね。展示されている作品の作家さんと関係をもつ経緯について教えてください。

友達の友達の、そのまた友達の…というように、知り合いの輪の広がりの中でつながっていきました。

売り上げの現状を見ると、関わりのない作家さんに「うちで(作品を)扱ってみたい？」などと積極的に声をかけることはできません。でも、知り合いづてで伝えると理解して、お店に足を運んでくれます。知り合いのつながりって大切ですよね。



オーナー・横川 知子さん(左)とスタッフ・西村 有美さん(右)
(撮影日：2021.11.19)

取材を終えて——

初めての取材ということで緊張していた筆者らを横川さんは「いらっしやい！」と快く出迎えて下さいました。気さくな人柄で、母親のようなやさしさが印象的でした。そんな横川さんの座右の銘は『ようこそ、ようこそ』で、ここには「よくぞ福知山に来てくれました」「またいつでも来てください」という思いがあるそうです。その純粋な言葉には横川さんの人間性が表れているなあと感じました。

取材の後には、温かいココアとふわふわのシフォンケーキをいただきました。取材を含め、本当に充実した時間を過ごすことができました。まいまい堂さん、大変お忙しいところ、インタビューに答えて下さりありがとうございました。

筆者らも福知山に来て早くも1年が経とうとしています。この1年間、福知山の多くの方々に関わり、そのたびに人のあたたかみを感じました。そんないいバショで「てんてこまいまい」の毎日を送る様子を頭に浮かべながら、まいまい堂が今後もずっと地域に愛されるカフェであってほしいと切に願っています。



取材後にいただいたココアとシフォンケーキ
(撮影日：2021.11.19)

今回が第1回目となった特集『福知山の、こんなバショ！そんなバショ！あんなバショ！どんなバショ？』でしたが、次回も引き続き掲載する予定です。

福知山市内のお店で、取材に伺ってもよろしければ、0773-45-3087 にぜひご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症の対策は最大限に尽くしたうえで伺わせていただきます。地域の皆さまと一緒に活気ある福知山市を作り上げていきたいです。ご協力よろしくお願いいたします。

まちかどキャンパス部 学生スタッフが活動中！

2021年度に入り、まちかどキャンパス部に新たに加わった7名の「学生スタッフ（2回生4名、1回生3名）」の紹介をします。紹介が年度末になってしまったことを深くお詫び申し上げます。



木村 太郎

情報学部 情報学科 2回生
好きな食べ物／鶏肉

日本全国を訪問したい！

今年度は初めてのことが多い中で、高校生や大学生のサポートだったため、不十分な点もあったと思いますが、来年度は今年度の経験を生かしつつさらにかんばっていきたいと思います！



川下 紗嬉

情報学部 情報学科 1回生
好きな食べ物／オムライス・明太子

どこかのオムライス屋さんのメニューを全制覇したい！

学生スタッフへは大学の教授に勧められて入りました。様々な経験とともに関わることのなかった人との新たな関わりを持つことに興味を持ち、活動してきたことでこの1年をとっても実りのあるものにするのが出来ました。

久保 心楽

地域経営学部 地域経営学科 2回生
好きな食べ物／美味しいもの全般

日本国内色々なところを車で旅行したい！

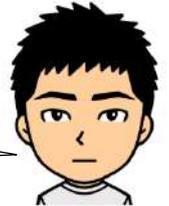


私が学生スタッフになった理由としては、より多くの人と関わって様々な活動をしていきたいと思ったからです。この経験をいかして今後の大学生活や就職活動を楽しく豊かに過ごしていきたいです。

小林 航也

地域経営学部 地域経営学科 1回生
好きな食べ物／お味噌汁

世界各地の郷土料理をいただきたい！



ぼくが学生スタッフになった理由は、地域の方々と関わる機会を増やしたいと考えたからです。福知山公立大学生として、静岡県からこの福知山に参りました。多くのご縁に巡り合えることに期待を膨らませています。



中根 大貴

情報学部 情報学科 2回生
好きな食べ物／餃子

日本三景と日本三大夜景をすべて見たい！

私は、ゼミの指導教員である渡邊先生からの推薦と、何か新しいことを始めてみたいという一心から学生スタッフになりました。



藤村 眞心

情報学部 情報学科 1回生
好きな食べ物／クレープ

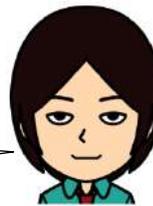
サロン・デュ・ショコラ (Salon du Chocolat)に行きたい！

私が学生スタッフになった理由は、貴重な体験ができると思ったからです。学生スタッフになって、たくさんの人と関わりながらいろいろな活動をしてきました。この1年の活動は私をいろいろな面で成長させてくれたと思います。

牧 将太

情報学部 情報学科 2回生
好きな食べ物／麺類

大富豪になりたい！



学生スタッフになった理由は、何となく良い経験になりそうだったから。

福知山市の皆さま、今年度は本当にお世話になりました。今後とも引き続き、まちかどキャンパス部学生スタッフをよろしくお願ひします。私たちもまた、地域の皆さまと関わることのできる機会を楽しみにしています。

開館情報・まちかどキャンパス吹風舎

- ▶ **開館時間**／火曜日～土曜日 13:00～18:00
 - ・祝日、年末年始、お盆等は閉館。
 - ・土曜日は完全予約制。
 - ・緊急事態宣言発令中は1組あたりのご利用時間を90分までとさせていただきます。
- ▶ **所在地**／福知山市字上新7番
 - ・施設の駐車場はございませんので、お車でお越しの際は近隣駐車場をご利用ください。
- ▶ **ご利用いただけるスペース**(一般の方)
 - ・1階共用スペース：10名様まで
 - ・団体(5名以上)でご利用の場合は事前予約をお願いします。
 - ・土曜日のご利用は人数に関わらず必ず事前にご予約ください。
- ▶ **ご利用料金**(貸切)／1時間400円(空調使用時600円)
 - ・土曜日は1割増し。
 - ・貸切でない場合は無料。
- ▶ **連絡先**／電話：0773-45-3087 Eメール：machikado@fukuchiyama.ac.jp

※ご利用の際は、マスクの着用、手指のアルコール消毒、検温等、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いいたします。

編集後記

無事、第2号が発行できてうれしい気持ちでいっぱいです。今回は特に、一から文章を書く難しさを体感しました。少しでも多くの方に読んでいただけるとうれしいです。

まちかどキャンパス部学生スタッフ
情報学部 情報学科 1回生／川下紗嬉

無事、本紙第2号を発行できましたことを大変うれしく思います。取材を受けて下さった「まいまい堂」さん、本当にありがとうございました。今後も頑張っていこうと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

まちかどキャンパス部学生スタッフ
地域経営学部 地域経営学科 1回生／小林航也